

丹波縄文の森塾 活動報告

令和7年11月23日（日） 晴



野焼き火起こし



薪づくり



しおり作り



薪入れ



縄文土器の野焼きをおこないました。野焼きする場所は、栗園付近の広場。火事にならないように防火用水と消火器を準備。もちろん消防署にも届け出をすませたの実施です。まず、土器をあぶるための火起こしをしました。マッチを擦って種火をつくり、小枝を入れて木炭をいこします。まわりに7月から約4ヶ月倉庫で乾燥させていた土器を並べ、時々まわしながら、ゆっくりあぶっていきます。あぶっている間に、薪にするための枝切りをしたり、干し草集めをしたりしました。



きょうの昼食は、オムライスと野菜スープ。オムライスは一人ひとりの器にふわふわ玉子がのっていて、ケチャップをかけると最高においしかったです。野菜スープには、キャベツ、人参、カボチャなどたくさんの野菜と一緒にウィンナーも入っていて、これもいい味でした。おかわりをたくさんしました。



午後は、土器を網に乗せてさらにあぶり、焼き上げる準備をしたあと、秋の里山で紅葉狩り。気に入ったカエデやイチョウの葉を集めてラミネートして、しおり作りをしました。大きなカエデの葉っぱやススキなどもラミネートしてみました。



きょうの締めくくりは、野焼きの薪入れ。じゅうぶんあぶりを済ませた土器を一気に焼き上げました。薪をたくさん入れて、うちわであおぎ、火がある程度大きくなったところに、みんなで干し草を投げ入れました。あっという間に炎が大きくなり、近くにいられないほど熱くなりました。少しびっくりしましたがいい経験になりました。あすの出来上がりが楽しみです。

